

町のわたし

今月の題字 森 絆音さん（豊間根小2年）



津波犠牲者十周年追悼式に200人 冥福祈り震災伝承誓う

東日本大震災から10年を迎えた3月11日、東日本大震災・大津波山田町犠牲者十周年追悼式が町中央公民館で開かれ、参列者ら200人が出席しました。午後2時46分、地震が発生した時刻に合わせて黙とうをささげた後、佐藤信逸町長が「復興への道のりは、大切な人や住み慣れた町を思い浮かべ、支え合い歩んだ10年でした。今までの足取りを振り返りながら、未来を見据えた町づくりにまい進していきます」と式辞。最後は、参列者全員が菊の花を献花し、十周年の節目に犠牲者の冥福を祈るとともに震災の経験を後世に伝承していくことを誓いました。

山田RCが津波石碑を寄贈 教訓目的に町内3カ所に建立

今次の震災が永久に教訓となることを願って——。山田ロータリークラブ(生駒利治会長)では、津波が到達・襲来した町内3カ所に石碑を建立し、町へ寄贈しました。東日本大震災による犠牲者の鎮魂と慰霊のため同クラブが企画したもので、3月11日には、町役場庁舎前で除幕式が行われ、生駒会長が「防災、減災の一助にしてほしい」とあいさつし、佐藤信逸町長は「石碑をしっかりと管理し、心に警鐘を鳴らしていきたい」と決意を新たにしました。石碑は、町役場庁舎前となかよし公園、鯨と海の科学館前に設置されています。



前列左から沼崎好果さん(3年)、吉川奈々さん(3年)、佐々木真海さん(3年)、佐々木良実さん(3年)、後列左から小野春陽さん(2年)、佐々木幸来さん(2年)、古田楓恋さん(2年)

山田高女子バスケ部が初の快挙 県新人戦で見事4位入賞

第66回岩手県高等学校新人バスケットボール大会が、1月21日から25日にかけて花巻市で開かれ、山田高校(晴山俊校長)の女子バスケットボール部が、同校初となる4位入賞を果たしました。部員7人で臨んだ大会でしたが、彼女たちは中学時代に山田中学校初の東北大会出場を勝ち取ったメンバー。個々の実力のほか、中学時代から培われたチームワークを発揮し、少数精鋭で見事、快挙を成し遂げました。キャプテンの佐々木真海さんは「次大会での東北大会出場を目標に、意識を高めて練習に励みたいです」と意気込みを話しました。